

令和5年度卒業生からの一言メッセージ

昨年度、卒業し新人看護師になった卒業生と保健師学校に進学した卒業生から「当校での学びが卒業後、どのように活かされているか」メッセージをもらったので紹介します。

県立新発田病院 G・Kさん

病院の医師や看護師、社会福祉士等の専門職の方が直接、授業をしてくださり、臨床に近い形で看護を学ぶことができました。また、実習は新発田病院で行い、実習期間中は毎日、教員と振り返りを行うことができるため、その日の疑問点をすぐに相談でき、学びを深めることが出来ます。



県立新発田病院 N・Iさん

学校で患者さんにとって良い環境を整える習慣を学んだからこそ、忙しい中でも常に患者さんが安全に過ごせる環境整備を行うことができている。事前学習は大変ですが、各領域実習で患者さんの状態をイメージしやすく、学べば学んだ分、看護師になった時に自分を助ける力となります。

県立中央病院 Y・Oさん

看護学校では、演習や実習を通して、急性期から慢性期まで幅広い分野の看護を経験することができました。また、特別養護老人ホームや訪問看護等の在宅看護の実習にも行かせていただきました。臨床の現場では、高齢者が特に多いため、患者さんの退院後のサービス調整にも活かすことができている。



県立中央病院 R・Oさん

看護学校では、看護の基礎となる知識・技術はもちろんですが、患者さんの全体像を捉え、個別性のある看護を提供する大切さやチーム医療を行う上でのコミュニケーションの大切さを学びました。看護学校での全ての経験が土台となっていることで、臨床に出て看護をより深く学ぶことができていると感じます。

新潟市民病院 S・Tさん

学校では、実習を通して患者さんとベッドサイドで沢山の関わりを行えました。臨床では、学生の時と比べ、ひとりの患者さんとゆっくり関わることは難しいですが、ベッド周りの環境整備を意識したり、私達との会話で楽しさを感じてもらえるように関わることで患者さんの安全・安楽な看護に繋がっていると感じています。

新潟市民病院 N・Kさん

授業では、病院で働く看護師の方に講師として来ていただき、実際の看護の場に欠かせない実践的な知識を得ることができたと思います。また、コロナの影響がある中でも病院で実習をさせていただき、教科書では学べない対応力・応用力を身につけることができました。



秋田県立衛生看護学院 N・Tさん

保健師の活動において重要な予防的視点からの支援を行うためには、看護の基礎知識が重要です。新発田看護は、隣に病院があり、3年間恵まれた環境で幅広い知識を演習、実習を通して学ぶことができました。新発田看護での学びが保健師学校に進学してからの学習にも活かされていると思います。